



早いので7月を迎えました。

今学期とあと20日はありません。めくくりの月として大切な毎日になります。  
お休みする事なく毎日元気な笑顔を見せてください。

今月は、次年度の就園に向けて、体験入園と幼稚園見学の日  
とあります。どうぞよろしくおねがいいたします。

■園庭に青黄赤の三つの木樽があります。  
40年と前に購入して、運動会の樽「ろかし」に  
使っていました。

今ではすっかり園庭の遊具として連日大活躍  
の毎日です。

昔はころがしたり、中に入ってぶれ合う  
事しか見られませんでした。園庭も  
広くなり、芝生の上なので、連日びく  
りすることとたちのあそびです。

中に入っておとどちかに転がしてどら、  
たり、先生を入れて転がして「きゃー…」の悲鳴  
が出たりですが、年長児になるとビクリの  
毎日です。

横になった樽に走って来ておっ!とび乗り、お  
がりながら両手で樽を左右に転がしながら  
長い時間乗っけられる子たくさん。やがて、  
小さい子たちも後に続くでしょう。



■壁に向かった逆立ちの練習は一般的であって、  
これを発展させたのが壁がない移動する「横あるき」  
です。片道5メートル、折り返して10メートルを幾度も  
経験した「壁なし逆立ち」に挑戦しております。

これは勇気の要る挑戦で、大きな成果の中には物事  
への自信と意欲を持つようになり、これからの育ち  
に向かつて大きな力になります。

園庭の芝生の上は「壁なし逆立ち」の練習  
には絶好の場です。最近、年中と年長の  
おとどちの挑戦しているようすが目に付い  
るようになりました。大きな期待をしております。

壁の無い所で逆立ちをするだけで、とても怖いと  
なのです。失敗し転んでも、痛くないように  
身体を使うし、2歩、3歩あるけただけで  
「逆立ちできた!!」になります。子どもたちは  
これで満足しません!

## (心の育ちシリーズ) 子どもには変わる瞬間がある

早稲田大学名誉教授  
作家 加藤 諱三

ある幼稚園で、「泣き虫けんちゃん」と言われていた子がいました。「右を向け」と言われると右を  
向き、「左を向け」と言われると左向き、「あっちへ行け」と言われるとあっち行く子でした。  
人の言うままに動いては、いつもめそめそ泣くんです。

ある時、友だちが、自分がなめていたアメを「ハ、なめていいよ」とけんちゃんに渡しました。  
いつものけんちゃんなら、言われたとおりなめていたと思います。ところがけんちゃんは、その  
時「イヤ」と言いました。すると近くにいた先生が飛んで来て、けんちゃんを抱きしめて  
言いました「けんちゃん偉い!」。けんちゃんは精一杯頑張ったその「イヤ」と言った  
のでしょう。  
先生はそれに気付いて「けんちゃん偉い!」と言ったのです。

その後けんちゃんは、自分の意見をはっきり言えるようになり、自分に自信を持つようになった。こ  
ろ。子どもの成長には「変わる瞬間」があります。大人はその瞬間を見逃さないようにしな  
くてはいけません。

## 気持ちをくみ取ってあげて

ある時、担任の先生と一人の母親が話をしていました。すると横にいた子が突然「お空からお砂糖が  
降ってきた」と言いました。それを聞いた先生は、子どもを連れて屋上駆け上がりました。  
そして30分後くらいに戻ってきました。母親は「おぼえですか?」と聞くと先生は、「ここのほうが  
たくさん降ってるよ」と、屋上に行ったそうです。

子どもは、ママと先生のコミュニケーションの輪の中に入りたいと思ってるんです。だから、「お空からお砂糖が  
降ってきた」なんて突拍子もないと言ったわけなんです。  
担任の先生はその子の思いに気づき、それをくみ取って行動したんです。ところが母親は「またそんな  
うそ言って」と相手になかったそうです。  
気持ちをうまくくみ取ってあげると、子どもは安心するし、やる気も育つと云えます。